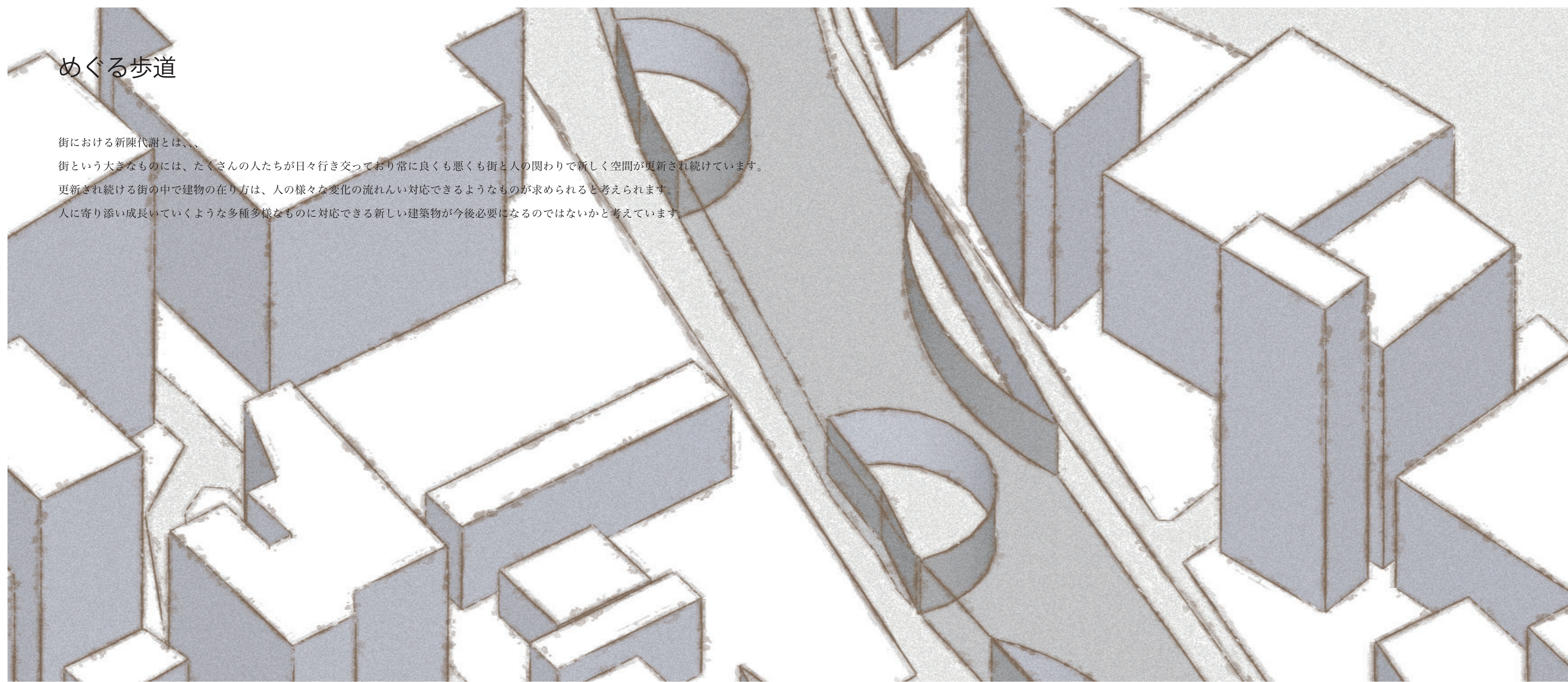


めぐる歩道

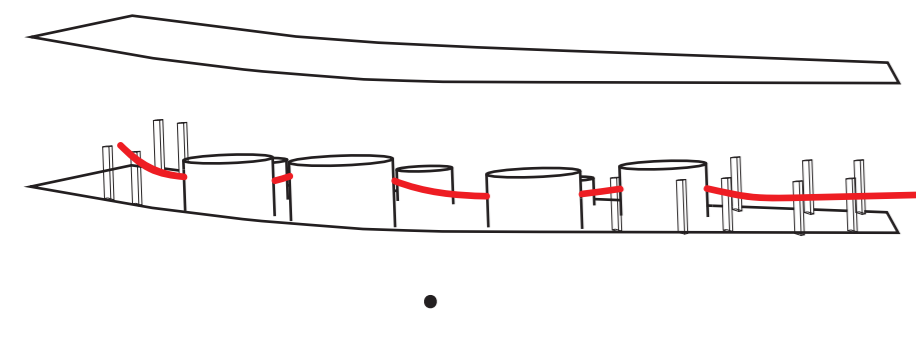
街における新陳代謝とは、
街という大きなものには、たくさんの人たちが日々行き交っており常に良くも悪くも街と人の関わりで新しく空間が更新され続けています。
更新され続ける街の中で建物の在り方は、人の様々な変化の流れにに対応できるようなものが求められると考えられます。
人に寄り添い成長していくような多種多様なものに対応できる新しい建築物が今後必要になるのではないかと考えています。



Planning areas



Flow line



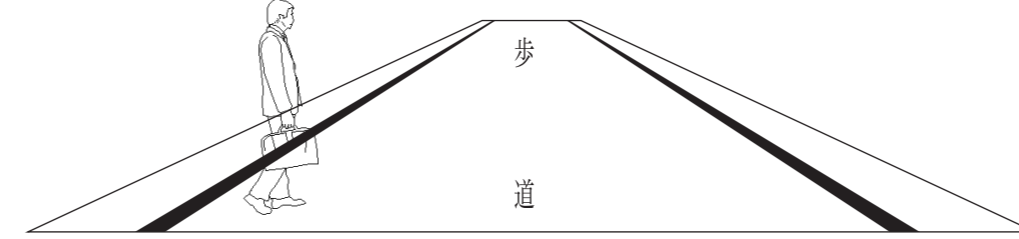
Diagram



整列から、、、

分断させる事によって人々の動きを活発に滑らかにする

街には様々な活用されずに無駄になっているスペースが存在します。
例えば、ビルの隙間や屋上、空き家空き地などあります。
今回は、高速道路や沿線など高架下のスペースに着目して新しい歩道の在り方を提案したいと考えています。
歩道は人との関わりがもっとも長く、歩くためには必要不可欠です
しかし、今の街の歩道はどこか面白みがなくただ必要だからあるような存在になってしまっています。
私は、今こそ街における歩道の在り方をもう一度見直し人に寄り添い成長していくような街における新しい歩道を提案したいと思います。



計画地周辺

茶屋町：敷地の左に位置する茶屋町は活気があり街開発も進んでいる、若者を中心に平日から休日まで賑わっている。

中崎町：右に位置する中崎町は反対側の茶屋町とは違い少し落ち着いた雰囲気の住宅街。ここもまた昔ながらの町家が今でも残っていて人気の場所

敷地

東海道本線の高架下は今現在、倉庫や店舗になっている。
国道 423 号線と城北公園通りの大通りに挟まれた場所に位置する。
車通りは多く、梅田、茶屋町でショッピングをしている人たちまたは、中崎町の地域の人たちが行き通う。

